時事新報

電話機の架設を急ぐ

東京市街の有様は近來ますく其盛を加へて家屋の建築店頭の装飾より馬車人力車の往復と云ひ瓦斯電氣燈の架設と云ひ又近の頃は市街鐵道の企あるなど日一日に壯觀を増すの勢なるが是れ一には日本の首府たる地位よりして唐詩に謂ゆる皇居の盛なるを覩ずんば安んぞ天子の尊きを知らん云々の意味もあることならん又一には今の東京は日本商賣の中心たるが故に事の必要よりして斯る繁昌を呈するに至りたるものなれば其外粧に屬するものとても固より之を蔑視す可きにあらずと雖も實際商賣上の便利に歸すべき設置は益々之れを奬勵して其繁昌を謀ると同時に兼て都府の粧飾に注意するの工風最も肝要なる可しと我輩の信ずる所なり

現今市中に行はるゝ馬車鐵道なり瓦斯燈なり及び電氣燈なり凡そ是種の設置は都府の外装を壯にするに兼て又商賣上の便利とも爲る可きものにして之を人民の手に任ずるも妨なきが故に民業に歸したることならんと左れば之に引續き電話機の如きも同様ならざるを得ず抑も電話機の架設は既に我國に珍らしからぬ事にして政府にては數年前より之を使用し諸官衙間の用向、各警察署の報知又は鐵道停車場の通信等に其便利一方ならざるは經驗に於て明白なる可し殊に本年の初より東京熱海間に通話を公衆にしてより其便益は今日世人の既に疑はざる所なれども元來電話機の便益は遠隔なる距離に於けるよりも寧ろ接近にして而も頻繁なる應酬に效を現はす可きものなれば繁劇なる市中の商賣用に供してこそ始めて其用を足す可きものなるに今日までの處にては其用の獨り官府の事のみに限られたるは(東京熱海間の外)我輩の甚だ遺憾とする所なり今の東京市中の有様を見るに鐵道馬車あり乗合馬車あり又人力車ありて人間の往來物貨の運送には差したる不便を感ぜざれども身を動かさずして用を辨ぜんとするには郵便の便に依頼せざるを得ず勿論今の郵便の仕組は務めて敏速に注意することならんなれども發着集散自ら時あるを以て市中の配達にも二三時間若しくは五六時間を費して間に合はざることなきにあらず故に商用其他少しく急速を要する事には更に人を馳せて其用を辨ぜざるを得ず錢を費して時を空うするの不便は實際家の常に云ふ所なりと云ふ左れば西洋諸國の都府の如く電話機の架設を許可し中央交換局を市中に設け以て人民の用に應ずる事となさば其便利は數ふ可らずして商賣の如きも爲めに一層の繁昌を致すことならん而して其架設の事たるや巨額の費用を要するに及ばず工事も亦容易なるものなりと云へば我輩は府下人民の繁昌を祈るの爲め其架設の必要を説くものなり

聞く所に據れば政府にても近來東京市中に電話機架設の計畫ありて其事の整ひ次第おひく着手の順序ありと云ふものあり我輩は其政府の手に出づるなり又は民間の企に成るあり管理の法よろしきを得て能く公衆の[illegible]する以上は強ひて之に異論を唱ふることなし[illegible]方より今日の實際を見れば政府にては已に[illegible]道を拂下ぐるの議さへありて成る可く官務の[illegible]がんとする[illegible]なれば電話の[illegible]も寧ろ[illegible]して[illegible]も適當なる可し[illegible]は事の實施を急ぐ者なり

官報

○鐵道局年報　明治廿一年度鐵道局年報同局長官より内閣總理大臣へ左の通具申せり

明治廿一年度鐵道局年報

明治二十年度本局年報を編纂して客年四月より本年三月末に至る一週年間本局に於て實施せる事業の概況及會計の要領を記載して茲に之を報告す而して其事項區分の順次は昨前年報の例に依る即ち左の如し

兩京間鐵道幹線の沿革
東海道線(附横濱及湖東線)
直江津線
資本勘定
營業線運輸概況
收益勘定
日本鐵道會社線(附兩毛、水戸、甲武、三鐵道會社線)
私設鐵道
總論

附

第一表　資本勘定内譯
第二表　收益勘定内譯
第三表　日本鐵道會社線建設資金内譯
第四表　二十一年度末車輛現數表
第五表　鐵道創業より二十一年度に至る乘客貨物數量表
鐵道線路略圖(之を略す)

兩京間鐵道幹線の沿革

下章に敍記する如く本局に於て布設を計畫せる既定各線路の工事は本年度の末に至り過半竣功を告げ其殘工事も日ならずして概ね皆落成すべきを以て茲に先づ兩京を聯絡する幹線鐵道布設及之に附帶する事業全體の沿革を左に略記す

抑明治三年鐵道創業の始に當り廟議の其規模を定めらるゝや東京より西京に亘るものを以て幹線とし更らに大坂を經て神戸に達し又横濱に向て枝線を敷くべきものとせられたり而して時機の緩急を圖り着手の順序を慮り第一に東京横濱間及び神戸大坂間の工を起し次て西京までの布設を施工し又後大津に延線し前敦賀大垣間の布設を竣りたるに兩東聯絡の幹線は夙に中山道を以て其由るべき線路として之を採るの議あり竟に十六年八月を以て之れが布設に着手するの議を決せられ同年の末中山道鐵道公債發集の詔あり十七年より其東西の兩部大垣名古屋間及び高崎横川間布設を起工したりと雖ども中山道の中部に達するには東碓氷の險を開鑿せざる可らず西揖斐長良木曾諸川の巨流に架橋の工を要し資材轉輸の便を得るに難くして徒らに日を曠くするの慮あるを以て東部に在ては直江津より信州上田に至るの線路西部に在ては武豐より名古屋に達するの線路を布設し此轉輸の便を圖るものは中部起工の順序に於て已むを得ざるのみならず兩線共に其地方運輸の利便上にも又布設の價値あるものなるを以て之れを奏議し十八年三月直江津線起工の令を得同年六月武豐線の布設も亦裁可を得て直に之に着手したり然るに翌十九年中山道中部の實測を竣り路其工事の計畫を立たるに將た其布設事業の困難なる部分多くして費額の龐大なるのみならず將來運輸上にも[illegible]速度は遲緩ならざるを得ずして運輸費も亦巨額に上るべく到底鐵道の利用を完全ならしめ難きを以て寧ろ東海道鐵道を布設して京濱線と名古屋線とを聯絡して之に代るの優れるに如かざるを信じ具さに之を上陳せしに同年七月中山道中部の工事を廢し更らに東海道線布設すべきの令あり於是同年の末より漸次該線全部の工事に着手し又二十一年一月を以て大津長濱間湖東線も亦布設すべきの命を得直ちに之を起工し本年度の末に及んでは前記の各線殆んど皆已に大略竣功を告るに至れり

中山道幹線起工の議を決せらるゝに當り概計せし所に據れば高崎大垣間の線路延長は凡二百廿哩とし其工費は二千萬圓を要すべき見込なりしに公債募集の後本局に交付せらるべき總額は公債發行を以て實收されたる金額千八百二十二萬餘圓と定められ尚其内より敦賀大垣間興業費補足として金四十五萬八千餘圓を控除したるを以て東海道線横濱大垣間(武豐線共)及高崎直江津線の工費に充つべき金額は總計千七百七十六萬餘圓となれり而して今此金額を以て布設せし線路の延長を算すれば合計三百六十八哩にして之を二百二十哩に比すれば六割七分餘の増加となり其費額は資本勘定の章に記する如く豫算額より百餘萬圓を減ずるの景況にして此費額を以て概算額二千萬圓に比すれば殆んど一割七八分を減ずるものとす

更に進んで湖東線四十八哩を加算すれば布設せし線路延長は四百十六哩にして之を二百二十哩に比すれば八割九分餘の増加となり費額は合計凡そ千八百萬圓にして之を二千萬圓に對すれば却て一割の減額となれり

本文記する所の外に尚は横須賀線あり其里程凡そ十一哩にして之を本文線路延長四百十六哩に加算するときは其合計四百二十七哩となり又其費額は四十五萬圓にして之を本文の費額千八百萬圓に加ふれば其總計凡千八百五十萬圓となるなり然れども此線は本文幹線の計畫に關係なきを以て之を省けり

右各線運輸營業上收利多寡の如何は未だ開業せざる部分あるの今日に於て豫言し難きのみならず開業後とても數年の平均に依て計算せされは確知するを得ざるは勿論なりと雖も既往他線の實驗等を以て之を推計するに其利益の多かるべきは蓋し疑を容れざるものとす此の如く兩京聯絡の幹線は鐵道創業の規模に基き其布設の竣功日を期して待つべく且之に附帶して布設せし線路を通計すれば延長は殆んど二倍となり費額は却て豫算の概計より減し將來營業上收益も大に望を屬すべきに至りたるは好結果なりと稱するの外なかるべし

東海道線

布設工事本線布設工事は前年度の末に於て概ね十分の七を竣功せしが本年度中に於て其工事を[illegible]歩を進め横濱大府間二百五十哩餘の内本年度中に全く開業せざる部分は靜岡濱松間四十七哩餘を除くのみにして此部分も已に開業の期を豫定するに至れり而して茲に工事に係る[illegible]を揭ぐれば土工は國府津大府間切取凡五萬餘坪築堤十六萬餘坪を竣功し土留石垣其他道路及河溝變換等の土工に屬するもの概ね本年度の末には殆んど殘工事なきに至れり橋梁は富士、大井、天龍の三大河を始めとし國府津大府間の諸川に架設を要するもの及前年度中已に開業せし横濱國府津間にある馬入川本橋等の如きも前年度中概ね皆其築設に着手したりしに本年度中に於て總て其殘工事を完了せり茲に於て本線路布設工事中最も容易ならずして且巨費を要するものとせし架橋工事も幸に一の蹉跌なくして其竣功を告ぐるに至れり隧道は前年報に石部の海岸所謂大崩と稱する部分は或は隧道を開鑿して線路を内部に移すの必要あるべしと記せしに果して線路上部の巖礫殆んど直立するが如き所は時々石岸の線路に墜落するの患あるを以て客年五月を以て更に此隧道の開鑿に着手し本年一月に至り之を竣功す其延長二千八百六十六呎なりとす其他各所隧道の前年報に記せしものは其内部煉瓦積築等を併て皆本年度中に竣功せり而して此他停車場に必要なる諸建物等の建築も亦大略完了せしを以て次年度に於て施工すべき殘工事は僅々たるものとす

横須賀線　本線布設の工事は本年度の末已に十分の九を完了し殘す所のものは僅かに軌道に砂利を敷布すると停車場建物數箇所あるのみにして運輸營業を開始する遠きに非ざるべし今此線の工事中主要のものを摘記すれば土工は切取四萬四千餘坪築堤三萬七千餘坪にして前年報に概計せしよりは増加せり土留石垣を築造するもの千九坪橋梁を架設するもの八箇所隧道は八箇所にして其最も長きものは千三百二十呎其合計延長五千三百二十六呎なりとす又本線の延長は大船停車場分岐の點より横須賀停車場に至る十哩五鎖半にして中間停車場は鎌倉逗子の二箇所とす

大津長濱間湖東線　本線は前年度の末に於て其大半は測量を竣りたりしを以て本年度の始めより殘餘部を測量し且工事に着手したり其方向及び地形の概略を記すれば馬場停車場より東に向て進み東海道を横ぎり勢田川を渡り左折して草津驛に至り是より中山道に入り守山驛の右を過ぎ野洲川を渡り八幡驛の右を通じ淨樂寺能登川の諸村を經て愛知川及高宮川を渡り彦根の右を過ぎ湖に沿ふて米原に達す馬場米原間里程三十五哩六十鎖にして地勢は東南山を負ひ西北琵琶湖に枕むを以て諸水分派して東より西に流れ湖に注ぐ故に架橋を要するもの多し米原は名古屋線と敦賀線との岐點にして甲は米原より右折して天ノ川に沿ひ醒ヶ井長岡二驛を經て柏原の東に出で村木村に於て既成線に接す里程七哩三十五鎖とす乙は米原より北に向て天ノ川を渡り湖邊に沿ふて直に長濱に至り既成線に接す里程四哩三十鎖とす故に湖東線と稱する工事の區間里程の總計は四十七哩四十五鎖なりとす

本線の布設工事は本年度の末に於て殆んど竣功に至り今後施工すべきものは僅かに橋梁架設の殘工事と停車場建物等なりとす而して其工事の梗概を揭ぐれば土工は切取二萬七千七百餘坪築堤二十六萬八千六百餘坪橋梁の橋桁を架するもののスパン百呎四箇七十呎三十九箇六十呎三十七箇五十呎十一箇四十呎三十三箇三十呎十箇二十呎七箇にして此合計延長(橋臺の上に當る部分を除く)七千六百三十六呎其他二十呎以下の橋梁三十二箇所暗橋五箇所なりコルベルトは暗渠百六箇所暗渠八十二箇所なりとす隧道は狼川、草津川、屋ノ棟川、三箇所は皆其河底を近せる平地より高きを以て川底を開鑿したるものにして外に腹越山を開通するもの一箇所あり合計延長九百八十呎なり之を要するに本線は地勢に高低凹凸の差少なしと雖ども橋梁其他の工事は前記の如くにして決して易々たるものに非ずとす

直江津線

本線の工事は前年報に詳記せし如くにして本年度の初め積雪の融解を待て先關山長野間の殘工を竣功し客年五月を以て此間の營業を開きたり而して長野以東の工事も著々歩を進め屋川千曲川其他橋梁の架設も順次其功を竣りたり然れども軌條の運搬は一昨年の末經營せし太田切及び其前後工事の最も困難なる所に阻せられ延滯せしが故に更らに二千二百噸の軌條を陸路碓氷峠に依り運搬し輕井澤より西に向て之を布設し全線軌道の開通を得たるは實に客年七月十七日なりとす

軌道全通を得たるの後尚コルベルト水拔隧道停車場土工及建物等の殘工事多くして全線の營業は客年十二月を以て之を開きたるも此等の工事は本年度の終りに至り漸く竣功を告ぐるを得たり

本線路中柏原以北冬季積雪の多量なるは前年報に記するが如くにして前二箇年は數旬間全く營業列車の運轉を中止するに至りたるに本年は一月の初旬より降雪漸次にして二月中旬には一丈餘の積雪ありと雖も除雪車を運轉し又は人夫をして除雪に從事せしめたるを以て唯列車に聯絡する車輛の數を減ずるに止り全く營業列車を運轉せざるの日なきを得たり

新潟直江津間線路　前回の年報中私設鐵道の章に此線路布設の出願ありしことを記載せしが客年の末直江津線從事の技術員をして其實測に著手せしめたりしに本年度の終りに至り之を竣り其平面高低の諸圖等を調製せり此線路は延長凡そ七十五哩にして米山の海岸に出る部分即ち鉢崎柿崎間は隧道の開鑿を要するもの多く土工も多量にして工事較困難なれども其他は概ね工を施し易きものなりとす

(未完)

雜報

○露國皇太子の結婚　露國皇太子と獨逸侯國の一なるヘッスのアレキサンドリア姫と結婚の議ありしも露帝は自國民が獨露兩國の結合を好まざるを知り且つ帝自身も皇太子をして務敦國の皇女と結婚せしめんと欲するが故にヘッス國の姫との婚儀を嫌へり露皇后は英國にては從妹との婚姻を禁ずるを以て其意を果す能はざるべし右の如き有様なれば露國皇太子は遠からずしてニコラス親王の第四女なるモンテネグロのヘレン姫と結婚するならん同姫は千八百七十三年に生れ本年十七歳にして容顔美麗性質英敏の皇女ありと昨月二十八日新

約欵の報に見ゆ
○英國軍艦ベー
る海豹の捕獵に
との間に屢々紛
發の報に本日信
へーチザ氏は英
グ海に向け出
頭旗艦スウイス
ラス、チャムピ
進發する筈なり
のベーリング海
して若し米國の
は之を差止むる
知したりと云々と
接して大に驚
新聞は説をなし
後も捕獵せらる
る程の價値あら
を政府の命令を
屬官等に委任せ
たりとの不幸あ
○大坂社會燈
同地の雜誌社
判所に於て同
村百三十八番
其實東區瓦町
一條第二條第
行八間久喜代
各罰金三十圓
二條第二十七條
以て罰金十圓
三氏は芥川村
に主人平八の
届を偽書し
せざる者と認定
申渡されしが
○浦賀横須賀
去る十七日横
り海兵團の
へ向け昨二十
○養育院窮民
廣嶋市平民
れみ毎月十七
を施與し度き
金五十五人の

倶樂部
倶樂部
凡そ倶樂部を
つ普通の者に
る人々が申合
しと決すれば
印刷し之を同
其創業資金の
の募集金は英
券あり此株券
れば之を以て
求は玉石其

(英量)	ポンド 封度 凡我百二十目	本 凡我十三貫五百目 四十七貫五分	トン 噸 凡我二百七十貫九百五十目
(英尺)	フート 呎 凡我一尺〇五厘八毛	ヤード 碼 凡我三尺〇二分七厘	マイル 哩 凡我十四町四十五間一尺

○東海道鐵道　新橋發車時刻　●印八國府津下り連絡新橋發午前●六時(急行)六時四十分●七時五十五分、八時二十五分(急行)九時●十時、十時五十分○午後十二時二十分●一時三十分●二時三十分、四時●四時五十五分(急行)●六時、七時三十五分、八時四十五分、十時、十一時十五分(急行)○横濱發(上り)午前六時三十分、七時二十分、八時、八時四十五分、四時

津發(上り)午前七時五分、八時四十五分、十時二十八分、午後二時五十五分、四時十五分、六時十五分、八時三十五分

○新橋靜岡濱松名古屋長濱間發車時刻　新橋發午前六時、十時、午後四時三十分○靜岡發(下り)午前七時三十五分、十一時四十五分、午後四時(上り)午前六時二十分、十時四十五分、午後二時五分○濱松發(下り)午前九

十分、九時十五分、午
午前六時、十一時
時四十五分發列車

○鐵道馬車　上野
十五分、午後二時